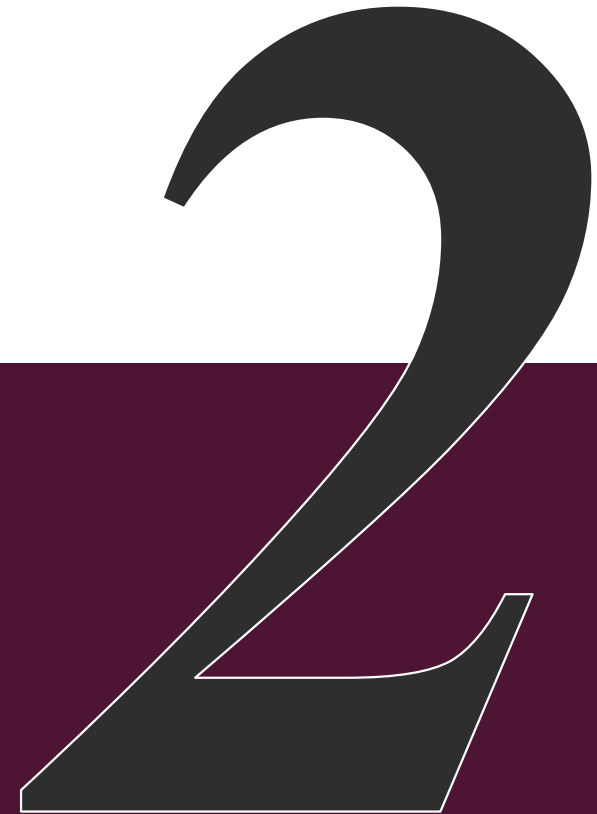


---

# Adobe XD 講習会

XDを学ぶ 前編



始まる前に前回伝え忘れたことを...

XDを学んで最終的にどんなものを作れるようになるの？

- Adobe XDを学んで  
最終的には「Bing」に近い  
デザインを作成できるようになる  
(左側の画像がサイトの表示)  
→ <http://www.bing.com/>
- 最終目標は右側の画像  
(Adobe XDで作成)

# 今回の目標

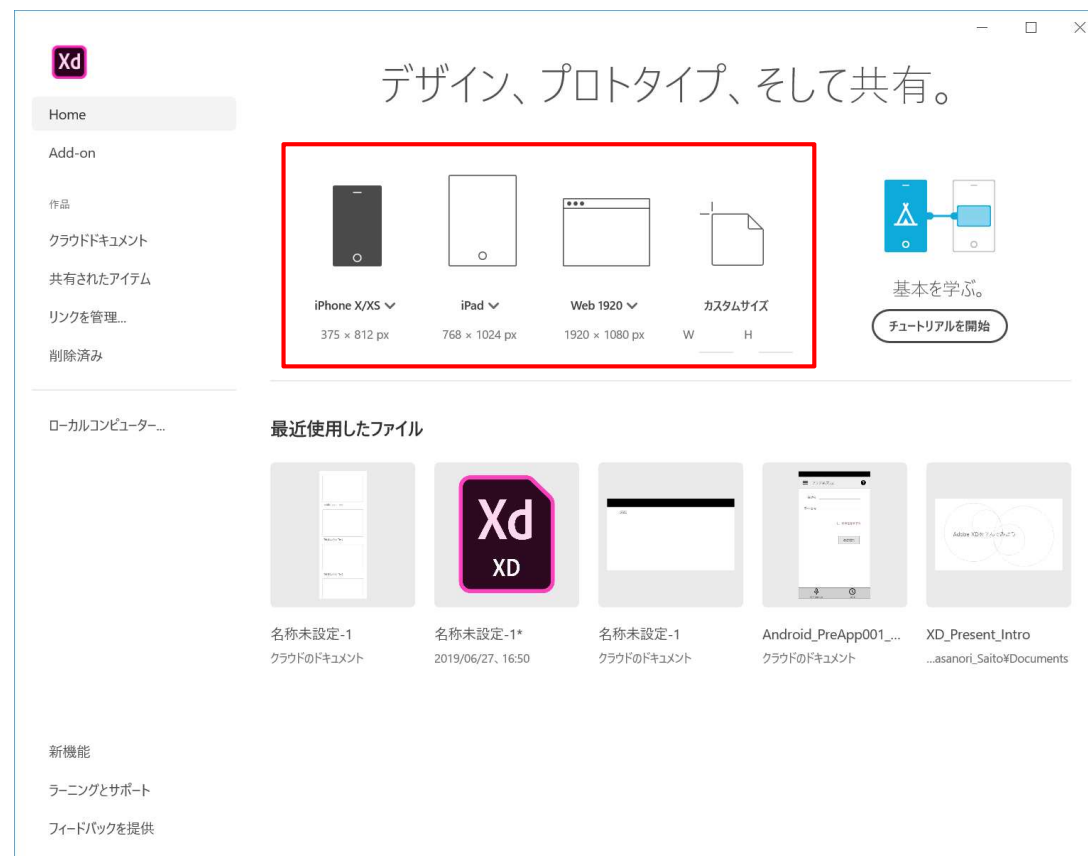
- Adobe XDならではの「機能」と「各部の名称」を覚える
- 画面に“パーツ(画像、文字等)”を置いて行こう！
- “このパーツが押されたら、別画面に移る”の方法！

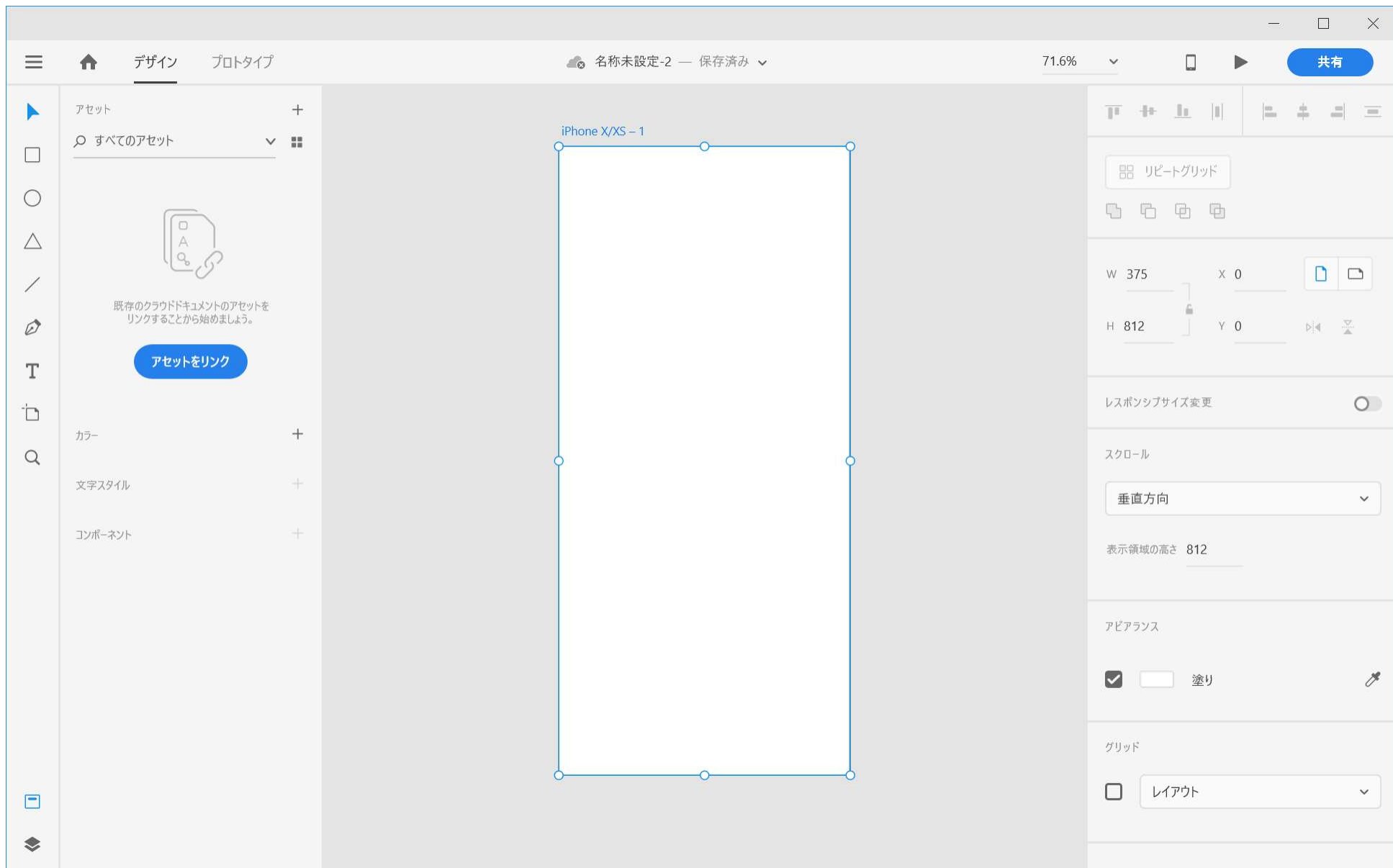
# 各部分の名称について

- Adobe XDを起動した最初の画面がこちら

まずは赤枠内から  
どの画面サイズ向けのデザインを  
行うかを選択しましょう

- 今回はiPhone X/XSを選びます





この部分は後で説明！

選択ツール

長方形描画

円描画

三角形描画

線描画

ペン(曲線)

文字描画

アートボード

ズーム

ツールバー

アセット表示切替

レイヤー表示切替

アセット

すべてのアセット



既存のクラウドドキュメントのアセットを  
リンクすることから始めましょう。

アセットをリンク

カラー

文字スタイル

コンポーネント

アセット表示  
(←で隠せる)

iPhone X/XS - 1

アートボード



リピートグリッド



W 375

X 0

H 812

Y 0

レスポンスサイズ変更

スクロール

垂直方向

表示領域の高さ 812

アビアランス

☒ 塗り

グリッド

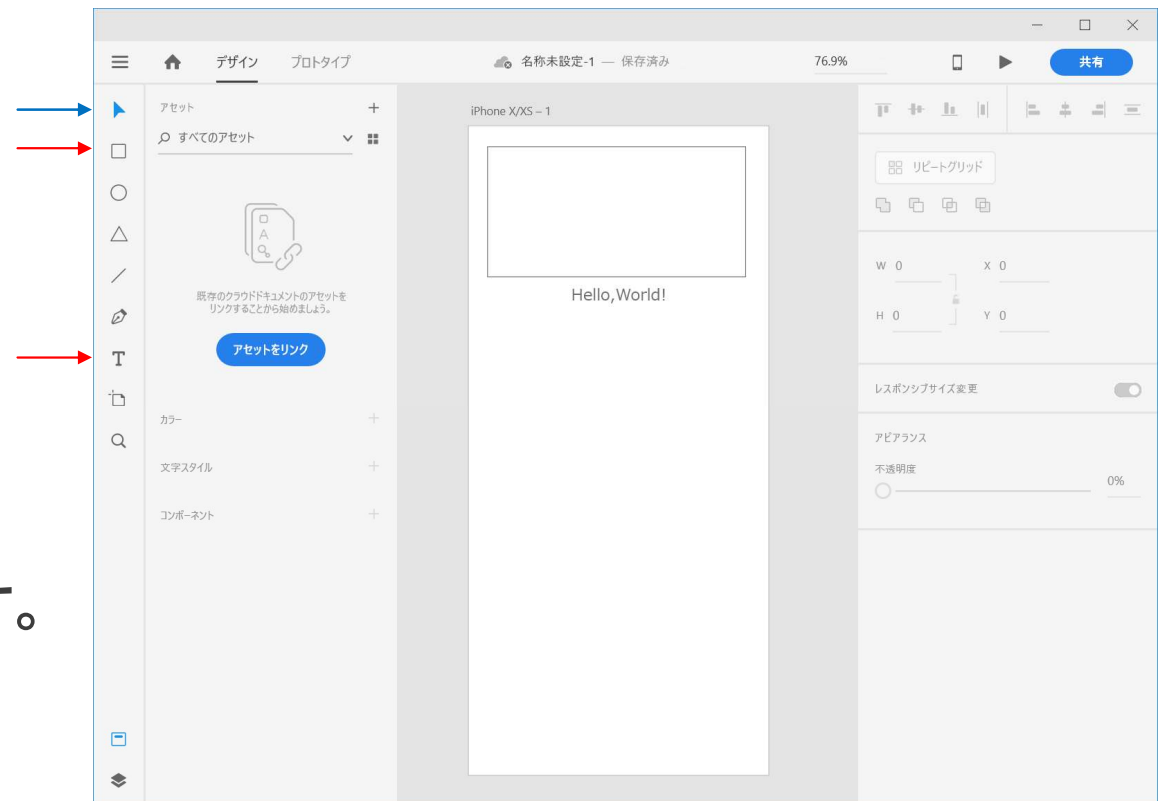
☐ レイアウト

プロパティ  
(選択部の設定)

# まずはツールバーから長方形と文字を描画しよう

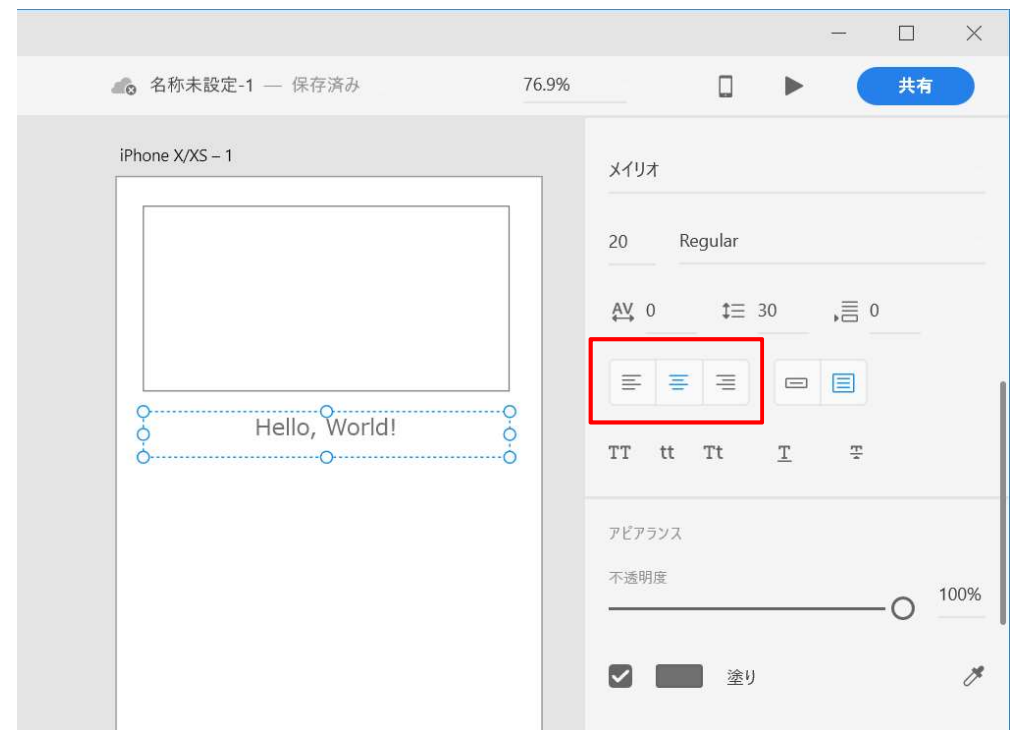
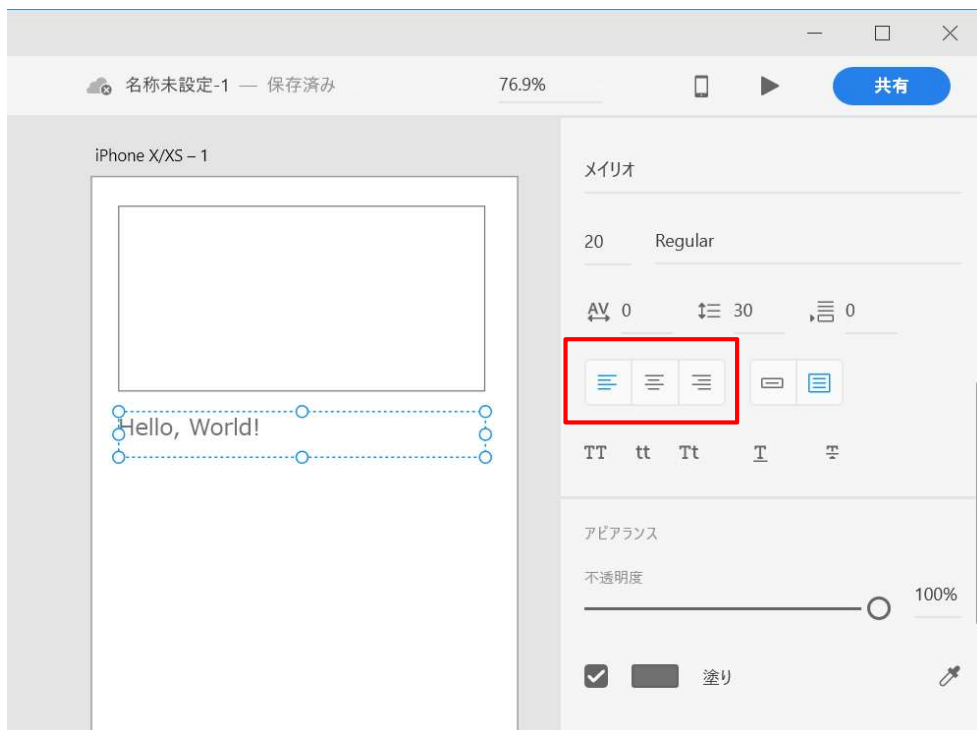
- まずはツールバーで**長方形**を選び、アートボード上でドラッグしてみましょう。その後同様に**文字**を置いてみましょう。
- 置いた後は「**選択ツール**」を選ぶと好きな場所へ動かせます。

(できれば画像のように置いてほしい!)



## (補足)文字の左揃え、中央揃え、右揃えについて

- ドラッグして文字の入力する場所を作ると、余白が出来ます。  
文字を左右に詰めたい場合はプロパティのこのアイコンで選択できます！



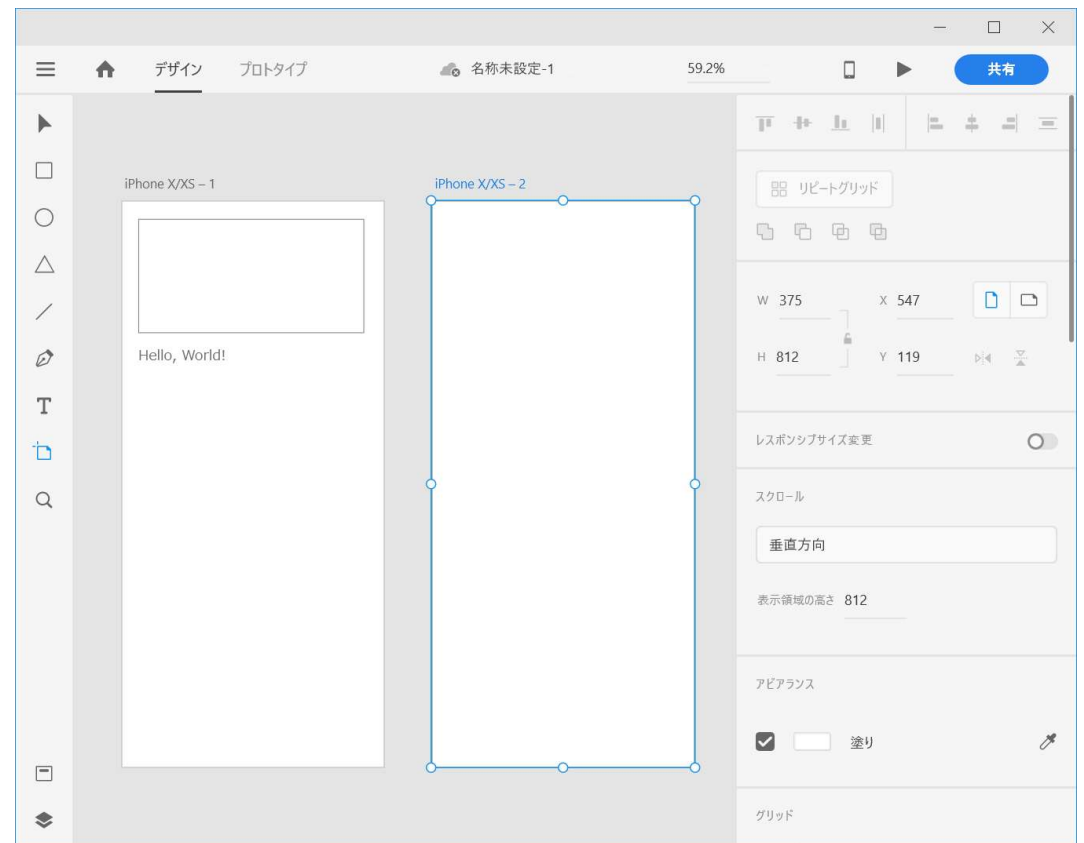


## 別の画面(アートボード)に移動する

- Webサイトやモバイルアプリで文字や画像をタッチしたら「別の画面に移動する」ことが普通ですよ
- まずは新しい画面(アートボード)を作しましょう！

## 別の画面(アートボード)に移動する (準備)

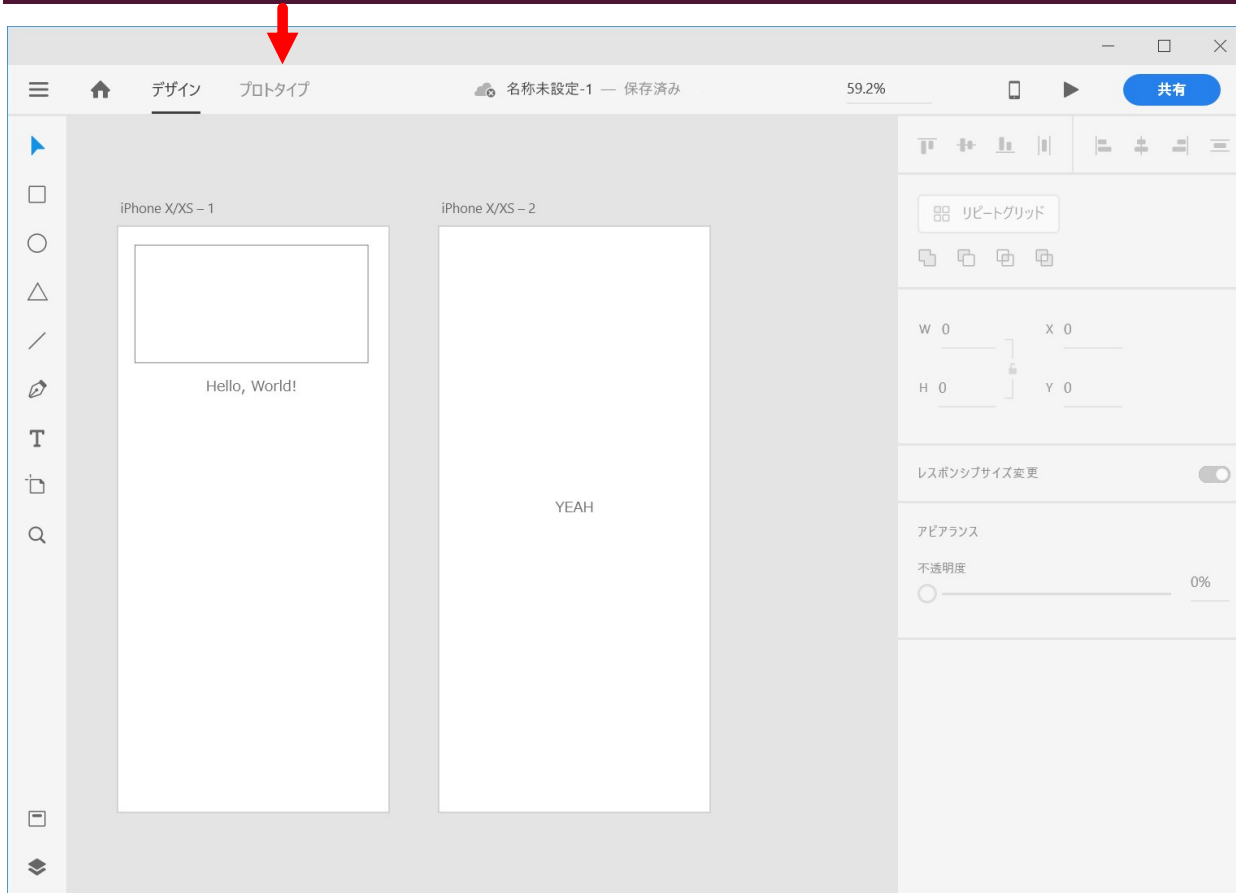
- まずアセット表示が邪魔なので非表示にさせる
- ツールバーから「アートボード」を選び  
今あるアートボードの隣の空白でクリックする



## 別の画面(アートボード)に移動する (準備)

- 先ほど長方形と文字を置いたので、新しく作った「アートボード」へ自由に図形や文字を一つ置いてみよう！
- 図形や文字はプロパティの「アピアランス」から「塗り」で好きな色に変えられる！

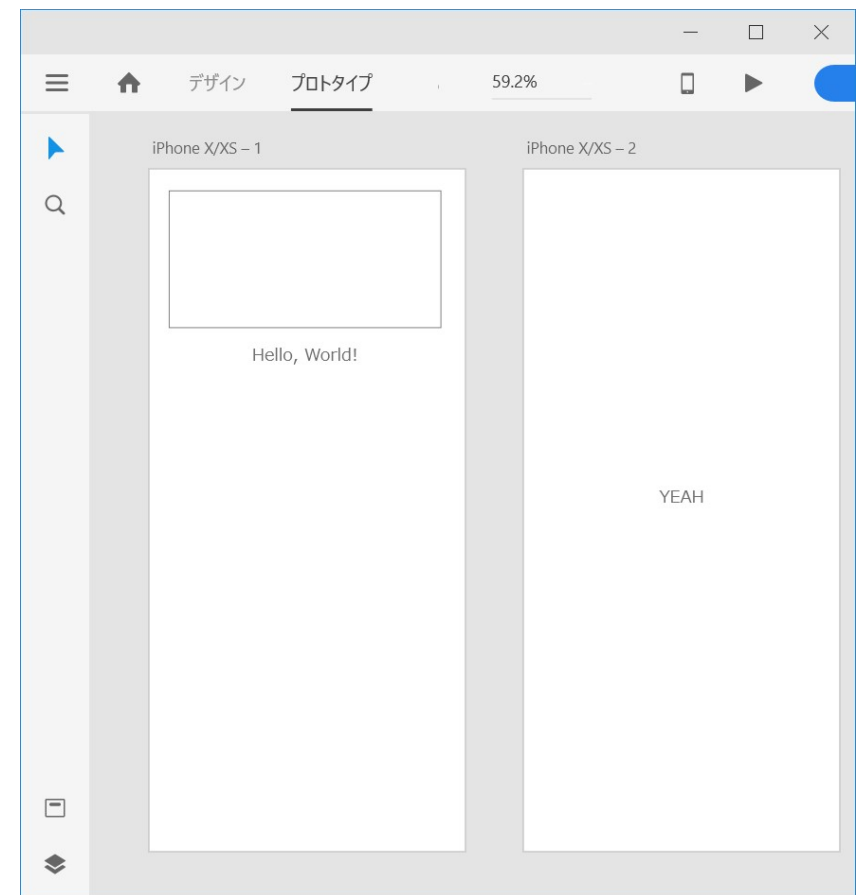
## 別の画面(アートボード)に移動する (準備)



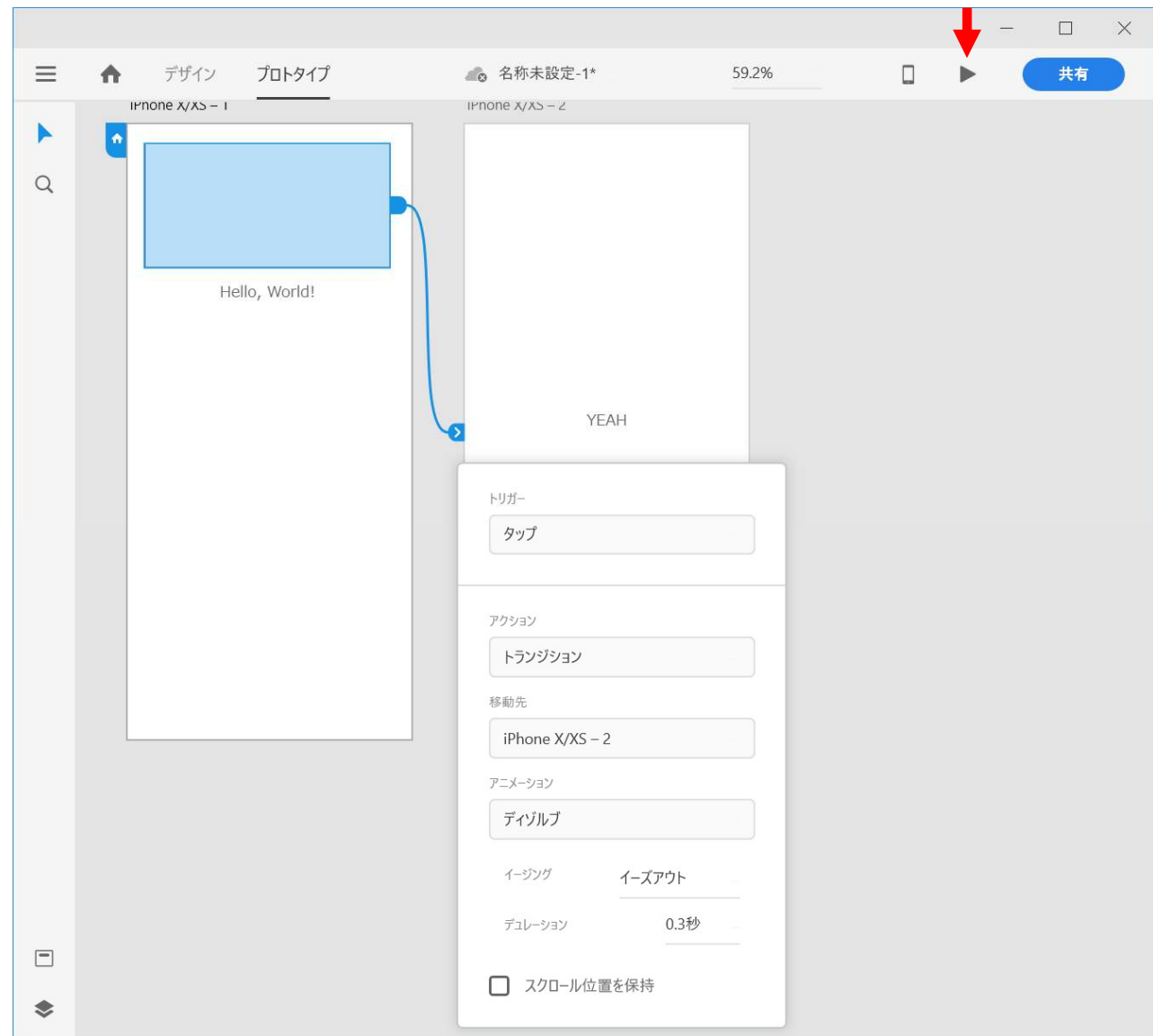
- こんな感じになりましたか？
- 「YEAH」でなくても  
右のアートボードに  
図形や文字があれば  
OKです！
- では、  
画面上部「プロトタイプ」  
をクリックしましょう

## 別の画面(アートボード)に移動する

- 右のような画面になったら、  
左側のアートボードの  
長方形をクリックしよう
- 右側に矢印が現れましたか？  
その矢印を右側のアートボードに  
ドラッグして繋げてみましょう



- このようなメニューが表示されましたか？
- これで  
「青い範囲の長方形」を  
「タップ(押される)」すると  
「別の画面」に  
「トランザクション(移動)」  
するようになりました
- 動かしてみましょう！  
右上の**再生ボタン**を  
押すと、プレビューできます。



## 一つ前の画面(アートボード)に戻るを実装する

- ここから実演していく

## ここまでの作業を保存しよう

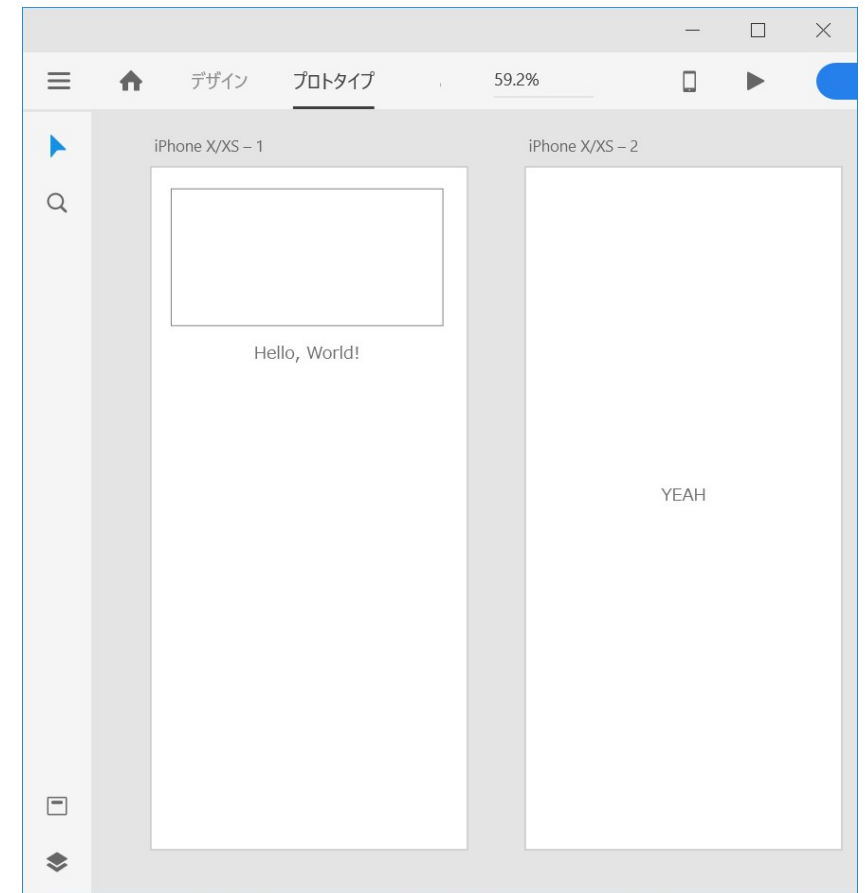
- 左上の「ハンバーガーメニュー」から  
「名前を付けて保存」を選びましょう  
Adobe XDでは  
ネット上に保存する「クラウドドキュメント」と  
通常のWord文書等と同じくPC内に保存する  
「ローカルコンピューター」の  
2つの保存先が選べます。
- 今回はローカルコンピューターに保存しましょう



- 「一つ前の画面に戻る」  
を実装しましょう
- これで  
「青い範囲の長方形」を  
「タップ(押される)」すると  
「別の画面」に  
「トランザクション(移動)」  
するようになりました
- 早速試してみましょう！  
右上の**再生ボタン**を  
押してみましょう

## 別の画面(アートボード)に移動する

- 右のような画面になったら、**SHIFTキーを押したまま、**左側のアートボードの長方形とテキスト両方を**クリック**しましょう
- **青い箱2つが選択されている状態**(複数選択状態)になりましたか？





- 選択範囲のどちらかの上で  
右クリックしましょう
- 「グループ化」という項目があるので、  
そこ

